

いじめ防止対策年間計画

令和4年度 3月作成
日章小学校

	連絡会・職員会等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4月	いじめ防止対策委員会 ・指導方針の確認 ・1学期計画確認 ※6 連絡会・職員 個別指導計画の作成・共有	人間関係づくり 温かい学校・学級づくり ※1 家庭訪問・個人状況把握 ※4	保護者向け啓発 いじめ問題 (ネットいじめを含む) PTA総会・学級懇談 ※ いじめ実態把握調査 ※5
5月	いじめ防止対策委員会 ・情報共有 連絡会	※7 学級懇談・個人面談・個人状況把握 修学旅行(6年)	
6月	連絡会	※8 Q-U調査・学校生活アンケート 宿泊訓練(5年) Q-U調査・学校生活アンケートの分析 人権教育研修 ※9	
7月	連絡会・職員会		三者面談 個別面談 個人状況把握
8月	いじめ防止対策委員会 ・情報共有 ・2学期計画作成 連絡会・職員会	※10 生徒指導研修等	
9月	連絡会・職員会	(運動会)	
10月	いじめ防止対策委員会 ・情報共有 連絡会・職員会	温かい学校・学級づくり	いじめ実態把握調査 個人面談・個人状況把握
11月	保護者向け研修会	Q-U調査・学校生活アンケート Q-U調査・学校生活アンケートの分析	
12月	いじめ防止対策委員会 ・情報共有 ・3学期計画作成 ・まとめ等の準備	(合唱コンクール) 温かい学校・学級づくり 人間関係づくり	三者面談・個人状況把握
1月	いじめ防止対策委員会 ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針改善 ・次年度の指導計画修正	校内支援委員会 情報モラル研修 ※11 全校一斉学習 ※12 (英語教育参観日)	個人面談・個人状況把握
2月	学校評価・支援引き継ぎシート 各種関連調査の作成・提出		
3月	いじめ防止対策委員会 ・指導方針の確認 ・1学期計画作成	校内支援委員会 次年度に向けた学級づくり (クラス編成)	個人面談・個人状況把握

未然防止、早期発見に向けて

- すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。
- いじめ防止対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。
- 各個人の様子を学年会議等で情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。
- 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にし、学校全体で組織的に対応する。

危機管理の心構え「さしすせそ」

さ: 最悪を想定する
し: 慎重に対応する
す: 素早く対処する
せ: 誠意を持って対処する
そ: 組織全体で対処する

- ※1 温かい学校・学級づくり、人間関係づくり
いじめ、不登校、学力向上等の課題解決の基盤となる要素である。朝の会・帰りの会、学級会活動などを通して、児童同士、児童と教師の関わり合いを重要視し、自己肯定感を高め合う学級づくり、学校づくりに努める。
- ※2 校内支援委員会
支援を要する児童の実態把握及び状況確認、対応等を検討する。
- ※3 保護者向け啓発活動
PTA総会及びが学年・学級懇談等において、いじめに対する対応として、いじめ防止対策委員会を設置し、未然防止に向けた取り組みについて啓発を行う。
- ※4 家庭訪問・個人状況把握
全学年で、担任等が家庭訪問を行う。
- ※5 いじめ実態把握調査
生徒、保護者を対象としたいじめ問題への意識調査を実施し、その調査状況を元に特別支援の計画等を作成する。
- ※6 連絡会・職員会
いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。
- ※7 学級懇談／個人面談／個人状況把握
年度当初、各学期等の区切りごとに個人面談を実施し、生活状況把握するとともに、クラス内の児童状況を把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。学級懇談で児童の実態を報告し保護者との情報共有を図る。
- ※8 Q-U調査・学校生活アンケート
6月・12月 年2回実施 満足度チェック
- ※9 人権教育研修
人権問題として、いじめ、ネットいじめ、情報モラル等についての研修会を実施する。
- ※10 生徒指導研修
ロールプレイ等、研修の実施の仕方を工夫するなど効果的な研修を実施する。
- ※11 情報モラル学習会
情報教育講演会の感想を書くとともに、ネットいじめ等を含み、正しい情報機器の使い方話し合う。
- ※12 全校一斉学習
情報モラル研修で学んだことについて感想を書くとともに、ネットいじめ、情報モラル等について正しい知識と使用方法について話し合う。

※情報共有等は職員朝礼・学年会等でも随時行う。
※いじめ防止対策委員会は定例会以外にも、いじめを把握した場合等には緊急会議を開催するなどし、いじめ防止対策の中心的役割を担